



# 旅は楽しい



嶋戸 由美子


楽しくて面白くなければ旅はつまらない。 旅は疲れると言う人もいる。だが工夫次第でそれほど負担にならない様にもできる。 旅といっても日常の疲れを休めるための温泉に入りに行くだけの1泊リフレッシュ旅もある。旅に期待する点が私の場合は少し違う、つまり欲張り。その分、十分な予習は欠かせないが～。

---

江戸時代の「旅行用心集」によれば、初めの2～3日は無理をせずスローペースで行け」とある。私の場合は、これと逆をやっている時が多い。例えば10日間の旅の場合、初めは張り切っているのでよく歩けるし、見学しても良く頭に入る。だから3日間位は観光プランにする。4日目位からは体が休まるスケジュールを

組む。そして、旅行先の見学地や行きたい場所にもよるが、それから2日位は又、しっかり観光地も入れる。最後の二日位は又ゆったりコースにすることが多い。帰宅したらグッタリ、というのは嫌なので、帰ったらいつもの調子に戻れる様なプランを立てれば楽なのだ。「用心集」によれば「携行品は少ない程よろしい」とある。こればかりは「わかっちゃいるけど〜」だ。どうしても「寒かったら？ 雨が降ったら？ 食事が合わなかったら？ 調子をくずしたら？」と、ついつい荷物が多くなる。でも3日目位から不要の荷物はホテルから宅配で送ってしまうと良い。駅の近くに宿をとると、チェックアウトしても預かって貰えるので便利だ。外を歩くときは身軽なほうがいい。近頃はビジネスホテルも競争なので、岩風呂で温泉が引いてあったり、朝食も普通のホテル並み、チェックアウトも12時迄等と、調べるとサービスのいい宿が沢山出てきた。

旅の費用の殆どは交通費とホテル代。航空券も上手に買えば海外も国内もびっく

りする程安いし、新幹線もジパングで 3 割引、回るコースや時期によっては青春 18 きっぷも安くて便利だ。ただ 1 人旅の場合は、計画を立てるのが大変という人が多い。これが億劫になったら旅行社に頼めばいい。私の場合はプランを立てるのが楽しくて、旅行の前にひと回り旅をする。今迄あまり困ったトラブルに遭わないで来たのは、このシュミレーションをするからだと思う。とは云っても思わぬアクシデントはある。その時の対処の仕方で、つまらない  旅 になったり、逆に、より楽しくなったり、思い出深いものになったりする。

旅は人生行路と同じだ。時間が長いか短いかだけの違いだと思う。どちらも様々な体験をして元の所へ戻る。通常は皆平穏で堅実であれと学業や仕事に努力をする。旅も同じで道中の安全や苦勞がほぼ約束されていると思う団体旅行を望む人も多い。でも長い人生の旅に比べればほんの一刻だ。せめて旅行くらいはお仕着せのルールから飛び出して自分好みのプランを作ってみたいと思う。

団体旅行は貸し切りバスで移動することが多い。折角、海外に行っても殆ど外国語や他国の人との交流とは無縁のことが多い。日常の友達関係の続きで旅をする感じだ。添乗員の誘導でそつなく観光をし、トラブルもなく食事をしてホテルに入る。それはそれで楽しく満足な旅だと思う。何より苦勞なく旅を終えて帰って来るのが一番なのだから～～。でも、もしフリーの時間があれば勇気を出して自分の行きたい所を歩いてみたらどうだろう？。少々不安もあるかも知れないが、その体験はきっと心に残るに違いない。フリータイムの過ごし方を自分なりの工夫でバリエーションをつければ旅行社のオプションに参加するよりずっといい旅の思い出が作れると思う。ただし危険な場所や店には近付かないことだ。地元の人々の笑い声が聞こえる店は大丈夫だ。ホテルのコンシェルジェに聞いてみるのも良いと思う。きっと楽しい経験ができる。美味しい店等も地元に住んでいる人に聞くとホットな情報が得られる。ガイドブックでお勧めの店は裏切

られる事も多い。もう、その店は無かったりするのだ。ただ勇気は多分に必要、その緊張した体験の後、又、もとの団体行動に戻るとホッとして、今迄とちょっと違う安心感が確認できる。ちょっとだけだが、個人、団体両方の旅の楽しさを味わえる。よく言葉を気にして「英語が、スペイン語が～話せないのに大丈夫？」と心配される事がある。でも外国語が話せなくても死ぬわけじゃない。ある人に言わせれば「日本語は話せるでしょ？ それで充分よ。あちらさんにしても、自国語以外は外国語、話せなくて当然、卑下することはない」とのこと。私もそう思う。「外国語をマスターしてから海外旅行をしよう」なんて思っていたら一生何処にも行かないうちに人生終わってしまう。こちらが一所懸命伝えようとすれば、相手も理解しようと懸命になってくれる。それでお陰様で、これまで何とかトラブルもなく楽しんできた。



旅は、人との出会いが何と言っても印象に残る。現地の人と触れ合いたい時に

はよく市場に出掛けるが、これは国内でも同じでガイドブックにない情報や品物に出会える。一人旅では相談相手がいないので、自問自答が多くなる。自分の計画や動きに「失敗したなァー」と反省させられる事もあれば、時には「ヤッタネ！！」とひとりガッツポーズをする瞬間もあつたりで楽しい。日頃は思いもしない計画性や、勇気決断を迫られる場面も多いので「私には、これ位の知恵や実行力しかないのか？」と、つくづく思い知らされる瞬間もある。初めての事柄に驚いたり緊張したり、ホッとしたり、のんびりと寛ぐ時間を堪能できたりと自分の中の世界が広がる旅はすばらしい体験だ。

人生は長い旅路。でも、たった1度だけしか歩けない旅。

その人生の中のほんの少しの時間を使って、日頃は、何となく過ごしている自分をリフレッシュしたいと思う。

シルバー大学で教わった「今日が1番新しい若い日。元気に歩きましょう」

あとは、勇気を出して実行あるのみだ。

